

しせいがい

Shiseikai



日本医療機能評価機構認定病院
機能種別版評価項目 3rdG : Ver.2.0

秋の号

vol.103
2022.10



タイトル：ハイビスカス

Contents

- 世界アルツハイマー月間
- 認知症治療病棟 より良い食事提供を目指して
- 敬老会 ～陽光館～
- Aさんのアート活動 ～タイトル：ハイビスカス～／桜邸 個別訓練で外出を支援
- この秋のありんくりん

世界アルツハイマー月間

1994年「国際アルツハイマー病協会」は世界保健機関（WHO）と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の普及を実施しています。なぜ9月21日かという、1994年9月21日、スコットランドで第10回国際アルツハイマー病協会国際会議が開催され、会議の初日であるこの日を「世界アルツハイマーデー」と宣言し、アルツハイマー病などに関する認識を高め世界の患者さんご家族に援助と希望をもたらすことを目的としたからです。

また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取り組みを行っています。

✧ 9月はアルツハイマー月間ということで・・・ ✧

包括支援センター具志川ひがしでも
「認知症の普及啓発活動」として

① オレンジプロジェクト
～オレンジの花を地域に咲かせよう～

② 認知症のパネルや資料

③ 認知症サポーター養成講座等

地域に出向いて、イベントを開催しました。

多くの方に見てもらおうと・・・「オレンジ色」の花等で装飾しました。
ボランティアや地域の事業所等の皆さんへ 感謝～♡



◇認知症に関して、詳しくは包括支援センターへお問い合わせください!!

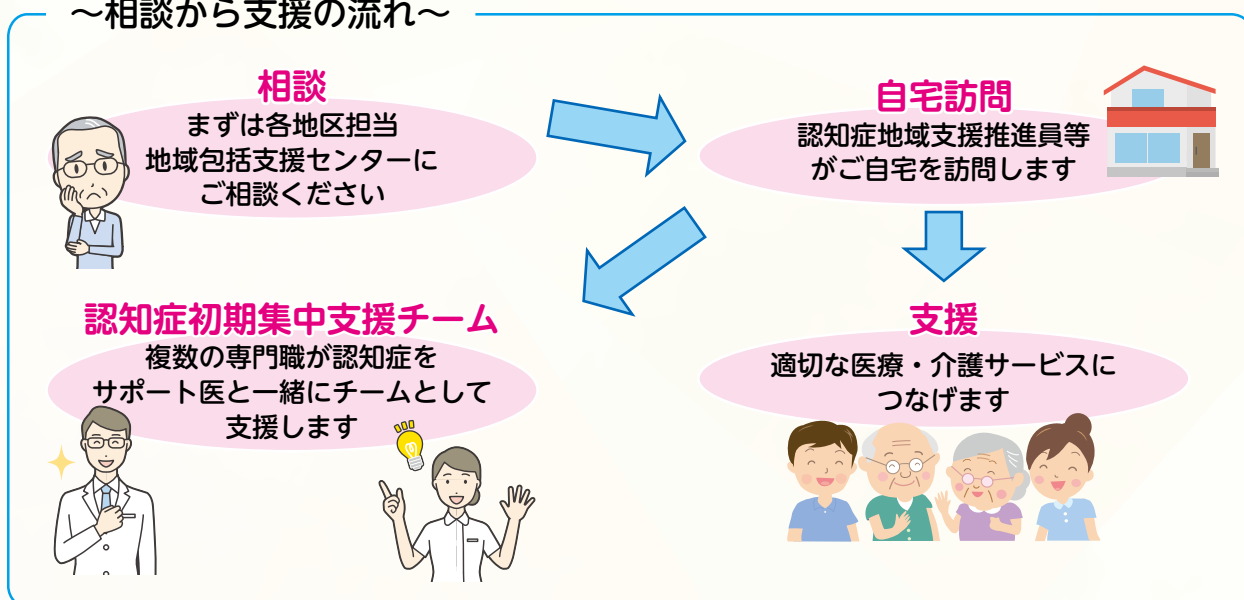
地域の皆様と一緒に「認知症の人や家族に優しい地域づくり」を目指して認知症地域支援推進員が日々活動しています!!

認知症地域支援推進員って?

- ・ 認知症の人や家族などの相談を行います。(認知症の人や家族が必要な医療や介護サービスなどが受けられるようお手伝いをします)
- ・ 認知症の状況などに応じて必要な医療・介護サービスが受けられるよう関係機関との連携づくりを行います。
- ・ 市と協力による「認知症ケアパス」の普及活動
- ・ 居場所作り(認知症カフェ)等、認知症を取り巻く地域の方への支援も行います。
- ・ 認知症サポーター養成講座での講義など
- ・ 「認知症初期集中支援チーム」との連携などによる、必要なサービスが認知症の人や家族に提供されるための調整

※市内7つの各包括支援センターには「認知症地域支援推進員」が配置されています。

～相談から支援の流れ～



地域包括支援センター具志川ひがし ～認知症地域支援推進員 大石より～

「認知症に優しいまちづくりを目指して」地域の皆様とつながり、認知症を正しく理解して頂きたいと思っています。最近では、コマーシャルなどでも社会全体として、認知症に対する関心は高まってきているように思います。正しく理解して、偏見なく、認知症となった本人や家族に対して接することができるよう、取り巻く周囲の人々が温かく見守ることができる、安心できる環境を一緒に考えていけたらと思っています。認知症について、不安や心配、気になることがあれば、どうぞお気軽にお声をかけてください。

包括支援センターでは毎月「もの忘れ相談会」「陽だまりカフェ(認知症カフェ)」を行っています。

☕などを飲みながら、話を聞いたり、相談したり、ゆんたくしませんか?

※コロナの感染対策を行い、活動を実施しています。お気軽にお問い合わせください。

地域の方々が、「認知症があっても、そうでなくても住み慣れた地域で暮らしていけるまち」であるために、ひとりひとりの理解と協力が必要です。今後も様々な場所で認知症について知ってもらい、考えるきっかけを作っていきたいと思っています(^O^)

より良い **食事提供** を目指して

認知症
治療病棟

平和食養課では、毎日270食から320食の食事提供を行っています。

現在、食材高騰が続いていますが、より安全で美味しいと喜んで頂ける食事の提供を行う為、残食チェックをし、随時献立調整を行っています。老若男女問わず、野菜や魚嫌いが目立ちます。嫌いなものをいかに無理なく食べてもらえるか試行錯誤しながら、献立作成を行っています。

最近、療養者様より以前より食事が美味しかったとの声を頂きました。

それが厨房職員の仕事への励みとなっています。



★ある日の献立★

- ・クリームシチュー
- ・サラダ
- ・バナナ
- ・スープ



認知症病棟開設に伴い、食事の摂取状況確認も重要となっています。食べる姿勢は良いか、飲み込みにくさはないか、本人が食べやすい食形態になっているかなど観察する点は多くあります。

毎日確認することで、誤嚥防止や栄養状態低下を防ぐ事が出来ます。管理栄養士が食事時間に病棟へ上がり、療養者や病棟スタッフとコミュニケーションを図りながら、個々に合った食事の提供に努めています。



敬老会 ～陽光館～

陽光館では、感染対策を徹底したうえで規模を拡大し令和4年10月12日(水)敬老会を開催いたしました。高齢者施設にとって「敬老会」は、入所者様へ敬意と感謝の気持ちを込めて長寿を祝う大切な行事になります。

式典の前には祝い膳を召し上がっていただきました。



お品書き

黒米・天ぷら・三枚肉煮付け・ゴーヤ和え・たーむでいんがく・いなむどうち汁
それぞれ常食・ミキサー食・きざみ食と食事形態に合わせ提供しています。

式典では皆様に記念品、そして今年百寿を迎えられる方2名、カジマヤー1名、トーカチ5名の方にはお祝いの品を贈呈いたしました。

心よりお祝い申し上げます、おめでとうございます！

今年は玉城流華代乃会宮里加代子舞踊研究所・KUINA様にお越しいただき沖縄民謡や琉球舞踊を披露していただきました。皆さん大変喜ばれて涙を流して観覧されている方も多くいらっしゃいました。



Aさんのアート活動 ～タイトル:ハイビスカス～

2022年秋号の表紙を飾るのはAさんの作品です。Aさんは長い間入院されている方ですが、ほぼ毎日『少年忍者風のフジ丸』というキャラクターを繰り返し描いてきました。

それは実際Aさんが16歳頃、昭和39年にテレビ放送されていたアニメのキャラクターです。何度も何度も判を押すようにその絵を描いていました。少なくとも10年以上は毎日描き続けてきました。

ある時、ふと見ると扇風機をデッサンしており、実際にそこにあるものを観察して描くように画風が変化していることに気づきました。その変化に驚き、庭に咲くハイビスカスを摘んできて花瓶に入れたものを描いてもらうことにしました。それが秋号の表紙です。

この作品は2022国際パラアート展に応募しましたが、残念ながら落選してしまいました。でもこうして秋号の表紙を飾れてよかったと思っています。



桜邸 個別訓練で外出を支援

自立訓練事業所しせいかい【桜邸】では、自立した生活へ繋げる事を目的とした外出支援を行っています。

外出支援の流れ ～買い物編～

◇事前準備

①本人と外出の目的を確認 ⇒ ②日時の決定・目的場所の把握 ⇒ ③購入したい物をリストアップ ⇒ ④金額の目安 ⇒ ⑤交通手段の確認（無料バス利用・時刻表確認等）

◇外出先にて

①到着後は不安を取り除くために店内を見学 ⇒
②リストアップした商品がどこにあるかサポート

慣れないうちは不安もあり、困惑している場面も見られることから、1回～2回程職員が同伴しています。



外出するまでの工程を評価・振り返りを行うことで自信を持ち、単独で外出できるようになっていきます。

今後も自立生活へ繋がれるよう引き続き支援を行っていきたいと思います。

この秋の

ありんくりん



上江洲区わくわくショッピング

10月17日 上江洲区にて「買い物に行きたいけど手段がない・・・」「一人で外出することが億劫・・・」等の困りごとを、自治会・社会福祉協議会・地域包括支援センターが主となり買い物支援が行われました。陽光館からも送迎バスと運転手を派遣し5名の参加者をサンエー与勝シティーへお送りし、買い物を楽しんで頂きました。参加者からは「買い物に困っていたので本当に助かった」や「ピクニックみたいだった」のお声がありました。地域の方が安心して暮らせるよう、これからも協力していきたいと思います。



精神科救急医療関係者研修会に参加しました

令和4年9月26日に沖縄県立総合精神保健福祉センター主催で、上記研修会が開催され、当院からも参加しました。今回の研修では、主に休日・夜間帯に措置通報がなされた患者さんの対応や保健所の実際の動き、警察との連携等について、各職種より話があり、それぞれの現状について理解を深めました。措置入院については、他県での運用状況について知ることができました。また、受診につなげる際に警察官とどのように連携を行っていけば、スムーズに受診同行との協力が得られる等の具体的なヒントが得られましたので、今後の支援に活用して行きたいと考えています。

スイカ割 ～あおば邸～

夏の風物詩と言えば スイカ割り～！という事で、8月9日にスイカ割り大会を開催しました。もちろん本物のスイカを準備していますが・・・、硬すぎて割れない、危ないので、あおば邸ではスイカ柄のビーチボールを使用しました。タオルで目隠しをしてスイカボールを叩くために「えいっ！」と声を出します。

叩いてボールがあちらこちらに跳ねるので、応援している人達も「ありありありあり～！」と笑っています。一人一人スイカボールを叩いて満足しました。テラス席に座り冷えたスイカをおやつに頂きました。「甘い、美味しい」「これ何処のスイカねえ？」「今帰仁のスイカですよ」「スイカは今帰仁が美味しいよ～」と入居者同士、職員も交えて会話も弾み楽しみました。



設立理念

1. 当院は新しい精神医療を行うことを目的とする
2. 精神障害者及びその家族の立場に立ち可能な限り物心両面から援助を行う
3. 作業療法、レクリエーション等を再検討し真に社会復帰に結びつく療法を確立する
4. 地域精神医療を行う
5. 精神医学、精神医療の発展に結びつく研究を行う
6. 病院運営にあたっては一般企業並みの経営を行い医療は最新かつ高度なものとする

患者憲章

- 平和病院は、設立理念に則り、医療の中心は患者様のためにあることを深く認識し、一人ひとりの患者様に次のような権利と責務があることを宣言します。
- あなた様には尊厳とプライバシーの保護を受ける権利があります
 - あなた様には最良な医療を平等に受ける権利があります
 - あなた様には知る権利があります
 - あなた様には自己決定する権利があります
 - あなた様には責務があります

基本方針

当院は、自然環境を活かし、アメニティーの充実に努めると共にチーム医療における質の高い医療を追求する。また、医療・保健・福祉における連携および患者様の人権を尊重し、患者様並びに家族との相互理解を深め、地域のニーズにあった信頼される医療を提供する。



精神科・心療内科 平和病院

病床数：212床（内 指定病床17床）

□ 精神科救急急性期医療病棟（スーパー救急） □ 認知症治療病棟 □ 精神療養病棟 □ 精神科訪問看護 □ 精神科デイケア
受付/午前8:30～11:00 午後1:00～3:00 木・日・祝祭日は休診
電話：098-973-2000 住所：うるま市字上江洲665番地
□ 相談支援事業所しせいかい（指定特定相談支援事業）



介護老人保健施設

陽光館

入所定員：140床（認知症専門棟40床）

□ 介護老人保健施設陽光館入所 □ 短期入所療養施設陽光館 □ デイケアセンター陽光館 電話：974-4000
□ ホームヘルプサービスセンター陽光館 □ 居宅介護支援事業所陽光館 電話：974-8000
受付/午前8:30～12:00 午後1:00～5:00 木・日・祝祭日は休館
住所：うるま市字上江洲661番地
□ 認知症グループホームあおば邸 電話：974-9770 住所：うるま市字上江洲708-1
□ うるま市地域包括支援センター具志川ひがし 電話：974-4001 住所：うるま市上江洲779-2



医療法人社団志誠会

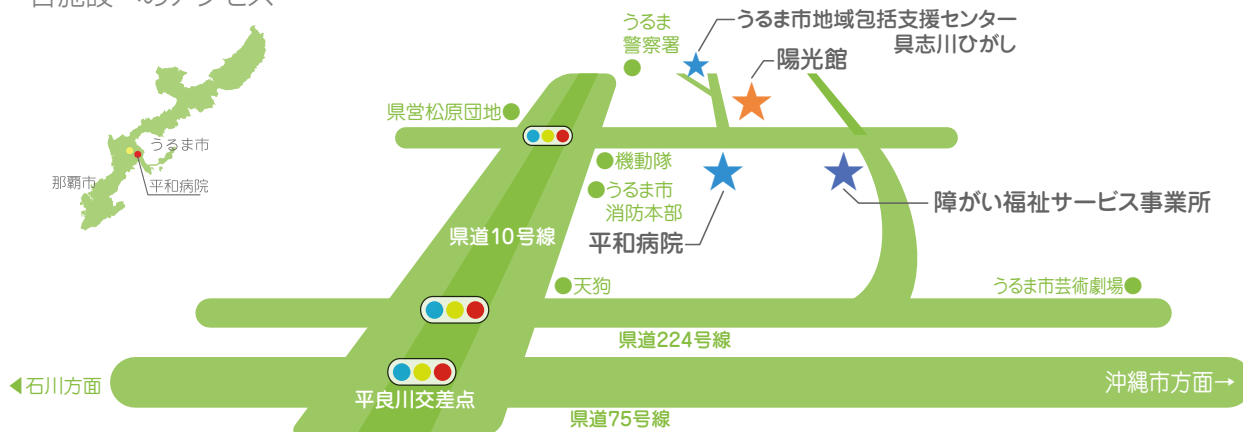
障がい福祉サービス事業所

□ グループホームしせいかい（外部サービス利用型共同生活援助・短期入所） 電話：974-6000
□ 自立訓練事業所しせいかい（宿泊型自立訓練・生活訓練・短期入所） 電話：974-6100
□ 就労訓練工場しせいかい（就労継続支援B型） 電話：973-0030

職員募集!!

志誠会では「看護補助者・介護職（入浴介助のみ可）・ヘルパー非常勤・調理スタッフ・清掃スタッフ・売店スタッフ」等の職員を募集しています。
その他職種も募集していますので、興味のある方はホームページをご覧ください。
098-973-9590（平和病院 総務課）

各施設へのアクセス



編集後記

朝夕、涼しさが深まり、夏の終わりを感ずる季節になりました。皆様はどうお過ごしでしょうか。コロナ禍で制限されていた生活も活気を取り戻しはじめ、あちらこちらで、様々なイベントが開催されています。

以前のような日常に戻るのには、もう少し時間がかかりそうですが、このような状況の中でも、しせいかいでは、患者様や施設入所者が満足できるよう活動に取り組んでいます。

今回も、スタッフが工夫を凝らした活動を満載しています。秋の訪れとともに、是非、ご一読下さい。

（新垣 肖子）

